

# 自然教育園見ごろ情報

2026年1月29日号

附属自然教育園

検索

詳しくはHPの「見ごろ情報」  
をご覧ください  
<https://ins.kahaku.go.jp/>



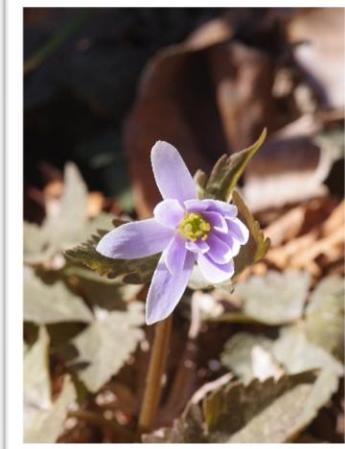
今週はここに注目！

フクジュソウが  
咲きました！



## フクジュソウ

福寿草（ふくじゅそう）の名前は、旧暦の正月ごろに咲くため、新年を祝うめでたい花としてつけられました。春にだけ地上に顔を出す春植物のひとつで、地上部はやがて枯れてしまいます。



## ユキワリイチゲ

小さな紫色の花が咲きはじめました。葉は、野菜のミツバ（セリ科）によく似ています。名前の「一華（いちげ）」はイチリンソウ（別名イチゲソウ）の仲間であることによります。



★園内での動植物の採集は禁止です。大切に見守ってください。

## フキノトウ(フキのつぼみ)

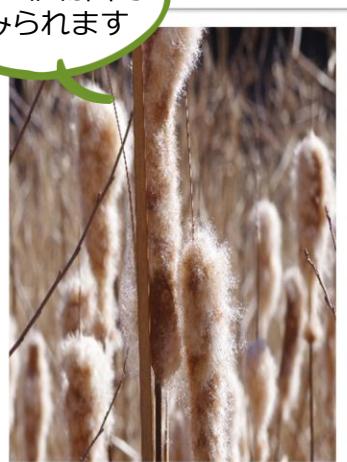
春の訪れを告げる「ふきのとう」が顔を出しました！フキの「花がつく茎（花茎）」にあたり、山菜としてもおなじみです。



## トラノオスズカケ(紅葉)

本来は、四国や九州などに生育する植物です。自然教育園の本種は、江戸時代に、平賀源内が松平讃岐守の故郷から持ってきたといわれています。夏に咲く花もみどころですが、葉が赤く紅葉した姿も冬限定の美しさです。

花（8～9月）



## ヒメガマ(実)

ソーセージのような穂が崩れ、綿毛のついたたくさんの果実が姿を見せています。強い風が吹くと、綿毛と果実が飛びだします。



## ハンノキ

枝先に垂れ下がり黄色い花粉が見える「雄花」、枝の途中にある赤いマッチ棒のようなものが「雌花」です。前年の実も、まだ残っています。



## ムクロジ(実)

実の中に入っている黒い種子は、羽根突きの羽の球や数珠に利用されます。また、果皮は界面活性作用がある「サポニン」を大量に含み、昔は石鹼の代用とされました。



## メジロ

名前の通り、目のまわりの白い縁取りが特徴の小鳥です。甘い果実や花木の花の蜜が大好きで、小さな群れで蜜を吸う姿をよく見かけます。市街地でも見ることができるので、是非探してみてください。

天然記念物及び史跡

科博 自然教育園